

介護・保育

ベネッセグループの第2の柱、介護・保育事業。
品質の向上と地域ドミナント戦略の深耕に
注力しています。



事業の強み

- 「その方らしさに、深く寄りそう。」を理念とする入居者視点のホーム運営
- 20年を超える実践知を科学的アプローチで体系化した「ベネッセメソッド」
メソッド例：認知症ケアメソッド、パターン・ランゲージ、サービスナビゲーションシステム
- メソッドの展開により向上・差別化されたサービス品質
- 戦略的な採用と人財育成
- 「その子らしく、伸びていく。」を理念とする子ども視点の保育園・学童クラブ運営

社会変化

機会

- 大都市における高齢者人口の増加
- 介護保険サービスの受給者数の増加
- 新たな処遇改善加算の創設
- 首都圏における保育園・学童保育の待機児童

リスク

- 深刻な介護・保育人材不足
- 建築費、工事費の高騰と用地不足
- 異業種大資本の参入による競争激化
- 厳しさを増す社会保障財政

2020年度目標

売上高年平均成長率(CAGR) **3%**

- 安定的なホーム数拡大と高入居率の維持
- 「ベネッセメソッド」の確立と横展開によりサービス品質の差別化を推進

2018年度の成果と2019年度の施策

ベネッセメソッドの進化による差別化で
安定成長を実現

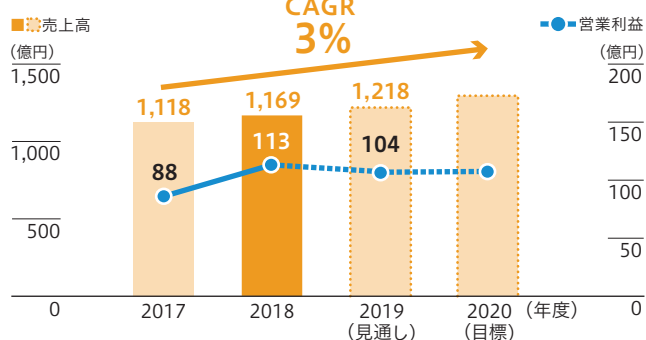
取締役 介護・保育カンパニー長 ベネッセスタイルケア代表取締役社長

滝山 真也



- ホーム増加にともない入居者数が増加
- 入居率も95%超を維持し、増収を実現
- 労務費の減少などにより、大幅な増益

売上高・営業利益



2018年度の成果

- 高齢者向けホームおよび住宅数が6ホーム増加
- 「ベネッセメソッド」を体現し、介護現場のサービス価値を高めるサービスナビゲーションシステムが、ITビジネス賞を受賞 [p.33](#)

2019年度の施策

- 引き続き年間10ホーム程度を新設
- 東京都心部以外でハイエンドホームを開設
- 「ベネッセメソッド」の横展開を通じたサービスの差別化、高入居率の維持を継続
- 究極の専門性の言語化、処遇と連動した社内資格の新設などの新人事制度の設計と人材育成に注力

TOPICS

保育分野の「ベネッセメソッド」保育のパターン・ランゲージ
『その子の宇宙が拡がり続けるためのことば』

ベネッセスタイルケアでは、高齢者ホームの環境づくりの成功事例をパターン化したベネッセメソッド『その方らしさに寄りそった環境づくりの手掛かり』に続き、保育分野のベネッセメソッド『その子の宇宙が拡がり続けるためのことば』を発刊しました。保育の実践の場で、事業メッセージである「その子らしく、伸びていく。」を支援するための「共通言語」をパターン・ランゲージ※の手法を用いて書き記しています。

“ベネッセの保育”が20年以上にわたって大切にしてきたことを、7つのまとまりで構成される40の手掛かりとして言語化し、まとめたものです。開かれた知識として共有し、さらなる

実践を続けていくことで、このベネッセメソッドをこれからも深化させていきます。

※ クリストファー・アレグザンダー氏が提唱した建築・都市計画に関わる理論。今回、言語化のためのフレームワークとして活用した



宇宙のように無限の可能性を持つ子どもの保育を進化／深化させるための共通言語をまとめた冊子『その子の宇宙が拡がり続けるためのことば』